

松江市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の進捗について

基本方針

1. 健康づくりと介護予防の推進(健康寿命の延伸)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
要介護認定率 (認定係)	%	19.9	19.9	19.7
健康寿命の延伸 (65歳平均自立期間) (専門官)	年	女性 21.83 男性 18.40	女性 21.78 男性 18.40	女性 22.05 男性 18.72

(要介護認定率は、令和8年2月月報の数値より算出)

施策の柱

1. 健康づくり施策の充実・推進

基本施策項目

1-1. 生活習慣病予防の取組み強化(健康推進課)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
家庭で毎日血圧 測定をしている方 の割合	%	令和7年度に実 施予定の「介護 予防・日常生活 圏域ニーズ調 査」で確認	25.0	50.0
週1回以上運動 やスポーツをして いる方の割合	%	42.8	40.2	70.0
松江市国保特定 健診の受診率	%	46.8 (法定報告値)	R8年11月末確定予定 R8年3月末時点 43.1%	53.5

【令和7年度の取組み内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

生活習慣病予防に関する正しい知識の啓発のために、松江地域糖尿病対策会議(松江市医師会)と連携し、生活習慣病予防講演会を5回(地区4、中央1)開催した。また、集団健診受診者への結果報告会における健康教育

や「るるくる」の啓発などを通じ、生活習慣の見直しにつなげるセルフチェックの推進に取り組んだ。この他、「市報松江」や「けんしんのお知らせ」などの媒体を通じ、正しい知識の普及啓発に取り組んだ。

8年度も引き続き生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発に取り組むとともに、9月を「るるくる」キャンペーン月間としセルフチェックの推進を図る。また松江市国保加入者を対象とした、過去の健診結果や診療情報(レセプト)を活用した各種受療勧奨や、島根県の「骨折および骨粗鬆症予防モデル事業」による、再骨折リスクの高い方や骨粗鬆症の治療中断者に対する、治療開始・継続を促す通知及び保健指導を引き続き実施する。

国保特定健診は、受診機会の確保のため、コロナ禍に受診期間を2か月間延長したが、令和7年度は、コロナ禍前と同様の6月～10月とした。期間が短縮されたことによる受診機会の減とならないよう、休日健診を11月の土日で設定し、未受診者には地区担当保健師の電話や訪問、「健康まつえ21推進隊」の地域活動による健診受診勧奨、かかりつけ医からの健診受診勧奨、土日の集団健診の実施などを通じて受診率の向上を図った。8年度も受診率向上に向けた各種取り組みを継続する。

運動に関しては、日常生活の中で気軽に継続して取り組める健康づくりのきっかけとして考案した「まつえっこ体操」の、子育て世代への情報発信や、健康まつえ21推進隊などとの連携によるPRを図った。引き続きまつえっこ体操のPRや、健康まつえ21推進隊等との協働による身体活動の機会の提供に取り組む他、ウォーキングマップを作成し推進した。心身の状態をチェックする「フレイル測定会」を通じ、フレイルのリスクがある方を早期に運動や栄養指導、社会参加などの支援へつなげ、健康状態の改善を目指す取り組みを継続して実施する。

基本施策項目

1-2. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組み推進

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
第1号被保険者のうち、要介護2以上の方の割合(認定係)	%	9.6	9.6	9.1
通いの場に専門職を派遣する回数(介護予防係)	回	418	357	470

(第1号被保険者のうち、要介護2以上の方の割合は、令和8年2月月報の数値より算出)

【令和7年度の取り組み内容、課題、令和8年度以降の取り組み方針等】(介護予防係)

要介護認定情報や医療費分析により、本市における高齢者の健康課題を整理し、保健事業・介護予防事業において、関係団体・機関と連携しながら、取り組みを進めている。

今年度は、地域住民組織や医療・福祉の関係機関・団体と協働し、全29公民館区でフレイル測定会を行い、高齢者自身の気づきを促しながら、早期に適切な支援につなげる取り組みを行ったほか、高齢者の通いの場において、保健師や管理栄養士などの専門職を派遣し、フレイル予防についての健康教育・相談を実施した。

今後も引き続き、地域の通いの場へ専門職を派遣し、フレイル予防や生活習慣病の重症化予防等の健康教育・相談を行っていくとともに、関係団体・機関と連携し、フレイルチェックやフレイル測定会等を行い、高齢者ご自身の気づきを促しながら、適切な支援に早期につながる取り組みを推進する。

施策の柱

2. 介護予防・重度化防止の効果的な取り組み

基本施策項目

2-1. フレイル対策・介護予防の推進（介護予防係）

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
なごやか寄り合い 実施会場数	か所	360	350	370
通所型サービス B の実施会場数	か所	29	29	60
からだ元気塾 参加人数	人	985	1,022	1,000

【令和7年度の取り組み内容、課題、令和8年度以降の取り組み方針等】

なごやか寄り合いは、新規立ち上げを検討している団体への支援を行い、新たに3会場が開設された。また、なごやか寄り合い世話人に向け研修会を行うなど、事業の継続や、休止中となっている会場の再開に向けた支援を行った。

通所型サービス B について、生活支援コーディネーターや地域包括支援センターを中心に立ち上げ支援を行い、2団体の新規登録に至った。また、団体運営の負担軽減のため、事務手続きの見直しを実施した。

からだ元気塾は、送迎付きで公民館区 29 地区全地区での実施を継続するとともに、事業の普及啓発を行い、参加者が増加している。

高齢者が身近な通いの場で、自分の役割や生きがいを見だし、社会参加の意欲を高めることができるよう、引き続き、新たな通いの場の立ち上げや活動継続の支援、参加者増に向けた普及啓発を進める。

基本施策項目

2-2. 自立支援・重度化防止に向けた総合事業の充実・推進(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
緩和型サービス 事業所数	か所	訪問61 通所76	訪問61 通所78	訪問75 通所91
緩和型サービス 利用者数	人	訪問 7,156 通所 11,664	訪問 6,319 通所 10,264	訪問 9,800 通所 16,500
一体的サービス提供 加算 ^{※3} 取得事業所割 合	%	11.8 (従前:14.5 緩和:9.2)	10.3 (従前:10.5 緩和:10.2)	15.0

※1 (訪問緩和・通所緩和共通)令和8年2月審査分(令和8年1月利用者分)までの延べ人数

※2 令和6年4月からの報酬改定により、運動器機能向上加算は廃止。代替として「一体的サービス提供加算」を新設。

※3 運動器機能向上サービスに加えて、栄養改善サービス及び口腔機能向上サービスを一体的に実施している事業所が算定可能

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

緩和型サービスを実施する事業所数は令和7年度は、令和6年度からほぼ変わらない状況にある。高齢者の重度化防止の取り組みとして、緩和型事業所によるサービスの提供が今後も引き続き必要と考える。事業所からの相談等の支援を行い適正な事業所運営につなげていく。

施策の柱

3. 生きがいづくり・社会参加の促進

基本施策項目

3-1. 高齢者が活躍できる場の推進(健康福祉総務課)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
-----	----	--------------	--------------	--------------

シルバー人材センター会員数 (健康福祉総務課福祉係)	人	978	1,018	1,110
高齢者クラブ会員数 (健康福祉総務課福祉係)	人	9,582	9,031	10,500
まめなかポイント事業登録活動者数 (健康福祉総務課総務係)	人	117	115	300
高齢者バス割引乗車事業延べ利用者数 (健康福祉総務課福祉係)	人	300,868	292,553	340,000

【令和 7 年度の取組み内容、課題、令和 8 年度以降の取組み方針等】

シルバー人材センターについて、会員数は増加してきているが、引き続き PR 活動の強化や定期的な入会説明会の実施等により、会員数の増加を図っていく。また、各職群の後継者確保対策の強化や、新入会員・未就業会員への就業紹介を強化し、退会者の抑制にも取り組んでいく。

高齢者クラブでは、会員加入促進に向けた活動について、各地区でできる範囲の取り組みを行っているが会員数は減少している。今後も加入促進のための諸活動や参加機会を増やす工夫等に取り組む、一層の会員加入実現を推進する。

まめなかポイント事業について、65 歳以上のボランティア活動希望者へまめなかポイントの登録を積極的に提案しているが、死亡や退会希望により前年度より減少した。受入施設の新規開拓が十分でないこと、ボランティア活動者が受入施設の情報を把握しにくいことなどの理由から事業登録活動者数が増加していないため、ボランティアの受入施設拡充に向けた取り組みを推進するとともに、活動者の実態調査、事業の効果的な情報発信の工夫等を行うことで、ボランティアへ参加しやすい環境の構築をすすめ、登録者数の増加を目指す。

高齢者バス割引乗車事業について、70 歳以上の高齢者に対し、市内路線バスの運賃を割引くことにより、高齢者の外出支援を図る。また、高齢者優待 ICOCA の利用促進に努める。

施策の柱

地域における支えあう体制強化

基本施策項目

4-1. 地域課題の解決支援(介護予防係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
第2層生活支援コーディネーターが活動支援を行った協議体数	団体	29	29	29
地域ケア会議(個別会議)開催数	回	14	14	14

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

第2層生活支援コーディネーターは、市内公民館区29地区で設置されている協議体への活動支援を行い、地域のニーズ把握や課題解決に努めた。

個別地域ケア会議では72ケースの検討を行い、多職種が連携し、支援内容の見直しにつながった。また、各ケースの状況から地域課題の分析・評価を行い、本市における課題抽出や、解決に向けた取組みを進めている。

今後も、生活支援コーディネーターや地域包括支援センターを中心に、地域課題の把握と解決に向けた取組みを推進する。

基本施策項目

4-2. 要配慮者支援の推進(健康福祉総務課総務係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
要配慮者支援組織の世帯カバー率	%	46.9	47.3	70.0

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

新たに5組織が設立となり世帯カバー率が前年度比0.4%増となった一方で、高齢化や役員の担い手不足等の理由から組織を立ち上げているが実際の活動が維持できなくなっている地域があり、今後も増えることが懸念される。

未設置地域をはじめとした各地域への出前講座や説明会を実施し、新規設置を推進するとともに、自治会単位のみならず、母体を公民館や自治会連合会とする等より大きなエリアでの組織設立も促すなど、地域の実情に応じた働きかけで世帯カバー率を高めていく。また、新規設置のみでなく、補助制度や他地区の取組み事例を紹介するなど、持続可能な組織の運営についても支援する。

基本方針

2. 多様なニーズに対応した介護サービスの提供

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
住みやすさの 実感割合 (総務係)	%	75.3	78.7	90.0

施策の柱

5. 医療・介護の連携強化

基本施策項目

5-1. 在宅医療・介護連携の推進(介護予防係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
ACPについて話し合ったことがある方の割合	%	令和7年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	13.9	40.0
介護サービスを在宅で受けながら生活できると考えている方の割合	%	令和7年度に実施予定の「在宅介護実態調査」で確認	75.4	80.0

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

松江市医師会の医療連携推進コーディネーターや保健所等と連携し、医療・介護関係者間の情報共有、相談支援、研修を通して課題抽出を行い、各関係機関と対応策の検討を継続して進めている。

高齢者の急変時に活用する救急医療情報について、消防本部等と連携し、市民や医療・介護関係者への周知啓発を行ったほか、運用における課題の共有や解決に向けた検討を行った。今後、独居や高齢者のみ世帯の増加が見込まれ、当事業の重要性は一層増すと考えられることから、運用の改善を進めるとともに、周知啓発の取り組みを継続する。

ACPIについて、まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会とともに、市民を対象にした市民公開講座や医療・介護関係者等を対象にした研修会を開催した。今後もACPIに関する取り組みが進むよう、講演会や終活支援ノートを活用した出前講座等の開催を支援する。

基本施策項目

5-2. 地域リハビリテーション活動の推進

指標名	単位	令和7年度 実績値	令和8年度 実績値	令和8年度 目標値
新規要介護認定者の平均年齢 (認定係)	歳	81.6	81.7	82.5
訪問型サービスC 利用件数 (介護予防係)	件数	15	25	80

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の実績方針等】(介護予防係)

地域ケア会議や、ケアマネジャーによる個別訪問にリハビリ専門職の派遣を行い、利用者にとって効果的リハビリテーションをケアプランへ取り入れることができるよう支援を行った。また、訪問型サービスC等の自立支援に向けた事業を推進するために、しまねリハビリテーションネットワーク、介護支援専門員協会、地域包括支援センター、医療機関など、関係機関との研修会を開催した。

今後も、自立支援に向けた事業の啓発や関係者の連携強化を図り、利用件数の増加につなげる。

基本施策項目

5-3. 多職種連携による生活支援(介護予防係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
多職種連携会議 開催か所数	か所	8	7	8

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の実績方針等】

日常生活圏域ごとに開催されている多職種連携会議では、地域住民と地域の医療・介護関係者が連携して、災害への備え等の新たな課題も踏まえた地域課題の共有や、解決に向けた具体的な取り組みの支援を行った。今年度は、前年度に立ち上がった2か所(松南第1エリア、中央エリア)への、助言等の活動支援を行った。引き続き、会議で挙げられた地域課題に応じた支援を進める。

施策の柱

6. 適正化の推進

基本施策項目

6-1. 給付適正化の推進(給付係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
給付適正化(ケアマネジャー)研修会の参加人数	人/1回	137	153	150
住宅改修・福祉用具購入利用者宅の現地調査	回/年	13	11	10
軽度者に対する福祉用具貸与の再点検	回/年	1	1	1

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

居宅介護支援事業所等を対象とした給付適正化研修会を令和8年2月にオンラインで開催。67事業所から153人の参加があった。

住宅改修及び福祉用具購入においては、申請内容と利用者の状況の整合性を審査し、適正であったかの確認のため、住宅改修6件、福祉用具5件の現地調査を行った。また軽度者に対する福祉用具貸与について、必要な手続きがされているか点検を行った。

今後もケアマネジャーの資質向上を図るとともに、適切な給付につながるよう適正化に取り組んでいく。

基本施策項目

6-2. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅のサービスの質の向上(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
有料老人ホーム(サ高住含む)の監査指導件数	件 (令和4年度からの累計)	39	56	68

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

市内の有料老人ホーム(サ高住含む)は68施設。監査指導(社会福祉法に基づく一般監査)は原則5年に1度実施しており、市内の施設についてはローテーションを組んで計画的に実施している。令和4年度から令和8年度末までの5年間で全施設を一巡することとし、今後も市内施設に対し、着実に監査指導を行うとともに、指導指針に基づく適切な運営を行っているか確認し、きめ細かく指導していく。

基本施策項目

6-3. 要介護認定適正化の推進(認定係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
申請から要介護認定 までの平均期間	日	40.0	45.0	37.0
認定調査員との 定期連絡会の実施	回	6	6	6

(申請から要介護認定までの平均期間は令和7年度4月～9月末のデータを集計)

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

申請から要介護認定までの平均期間については、申請数、主治医意見書の提出、訪問調査の結果の取り込み及び審査会の日程調整等複数の要因で変動している。今後は調査員の増員、主治医意見書のきめ細やかな提出依頼、事務処理の改善など期間短縮に努める。(社協の訪問調査職員人数の令和7→8の増員状況 正規職員 2名→3名、継続雇用職員 2名→1名、嘱託調査職員 16名→17名)

認定調査員との定期連絡会については、令和6年度より引き続き定期連絡会を6回開催し、訪問調査結果の平準化について連携を行った。令和8年度以降も継続して連絡会を行い、適正な要介護認定となるよう取り組んでいく。

施策の柱

7. 地域共生社会に向けた包括的支援

基本施策項目

7-1. 属性や世代を問わない相談支援(健康福祉総務課総務係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
ふくしなんでも相 談所(サテライト含 む)設置数	か所	47	44	59

【令和6年11月末までの取組み内容、課題、令和6年12月以降の取組み方針等】

総合相談窓口である「ふくしなんでも相談所」や、各地区の公民館や地域行事の際に「出張ふくしなんでも相談所」の相談ブースを設置し、地域住民の相談を分野を問わず受けとめ、関係機関で連携し対応するなど、相談支援を実施した。住民の抱える生活、福祉課題は、既存制度では対応が困難な事例や単独機関では対応できない事例が増加していることから、市内の社会福祉法人や薬局に対し、「ふくしなんでも相談所」のサテライト窓口を設置いただけるよう積極的な働きかけを行い、住民がより身近な地域で相談できる「ふくしなんでも相談所」を拡充するとともに、多機関で連携して対応する体制の充実を図る。

基本施策項目

7-2. 共生型サービスの普及・推進(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
共生型サービスの指定を受けている事業所数	か所	1	1	3

【令和7年度取組み内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

令和7年度末現在で共生型サービスの指定を受けているのは1事業所だった。今後も引き続き各事業者に対し、共生型サービスについて普及啓発を行うとともに、新規取り組みに関する事業者からの相談に対応することで、制度の理解促進と普及に努めていく。

基本施策項目

7-3. 成年後見制度の利用促進(健康福祉総務課福祉係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
市民後見人等候補者バンク登録者数	人	28	35	27

【令和6年11月末までの取組み内容、課題、令和6年12月以降の取組み方針等】

成年後見制度をはじめとする権利擁護支援の中核的な役割を果たす機関として設置した松江市権利擁護推進センターにおいて、成年後見制度の利用促進に取り組んでいる。今後も引き続き、市民後見人等養成講座をはじめ、制度の利用・相談支援や地域への出前講座の実施等に取り組む、成年後見制度の利用促進を図っていく。

基本施策項目

7-4. 高齢者虐待防止の取組み推進(介護予防係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
高齢者虐待防止研修会参加事業所数	か所	71	73	100

【令和7年度の取組み内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

虐待の早期発見・解決につなげるため、介護サービス事業所職員を対象に虐待防止に関する研修会を開催した。また、地域包括支援センターや医療・介護の関係機関と連携し、虐待行為が疑われるケースへの早期介入に努め、行政による指導やサービス利用につなげるなど、本人や養護者への支援を図った。

高齢者虐待については、相談件数が増加し、また発生要因が複雑化していることから、引き続き多分野の関係機関との連携強化を図るほか、虐待に関する知識・理解の普及啓発や相談窓口の周知に努める。

施策の柱

8. 災害・感染症対策

基本施策項目

8-1. 業務継続計画整備支援(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
業務継続計画に関する介護事業所・施設向けの説明会の開催回数 (※集団指導での実施を含む)	回 (令和5年度からの累計)	3	2	4

【令和7年度の取組み内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

令和7年度は3月に全事業所を対象にした集団指導をハイブリット形式で開催し、主に感染症対策に関する業務継続計画の見直しについて説明を行った。会場での参加者に対しては、グループ討議の時間を設けることで一

層の理解促進を図った。

令和 8 年度も引き続き、策定した計画の見直しなどについて説明の機会を設け、事業所の理解促進につなげていく。

基本施策項目

8-2. 災害・感染症対策支援(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和 8 年度 目標値
非常災害時または感染症の予防・まん延防止に必要な訓練実施に関する介護事業所・施設向け研修会の開催回数	回 (令和6年度からの累計)	1	2	3

【令和 7 年度の実績内容、課題、令和 8 年度以降の取組み方針等】

令和 7 年度は 3 月に業務継続計画に関する集団指導の際に松江保健所の担当課から感染症対策に関する説明の機会を設け、各事業所のまん延防止に関する知識向上を図った。

今後も引き続き、国等からの感染症に関する通知等を適宜周知するなど必要な情報を提供し、感染症対策に必要な知識の習得を介護事業所が行うよう努めていく。

基本方針

3. 認知症施策の推進(介護予防係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和 8 年度 目標値
認知症に関する相談窓口を知っている方の割合	%	令和7年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	36.4	50.0

施策の柱

9. 共生社会の実現と認知症予防

基本施策項目

9-1. 本人・家族への支援(介護予防係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
認知症に関する相談窓口を知っている割合	%	令和7年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	36.4	50.0
認知症カフェ設置数	か所	9	12	10

【令和7年度の取組み内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

9月のアルツハイマー月間において、松江市立図書館での関連図書やリーフレットの展示、松江駅等での街頭活動を行い、相談窓口の周知を含めた認知症に関する普及啓発を実施した。

認知症の方の社会参加や本人発信の場として「本人さんカフェ」を開設しており、令和7年度は延べ79人(うち本人15人、専門職8人)が参加、市主催のまつえオレンジカフェは、延べ144人(うち本人21人、家族43人)が参加した。また、認知症地域支援推進員が認知症カフェの立ち上げ支援を行い、新たに3か所の認知症カフェが立ち上がった。今後も本人や家族の支援のため、「認知症の人と家族の会」や地域包括支援センターと連携し、市主催の認知症カフェを継続して開催するとともに、市内認知症カフェの再開や立ち上げ支援に努める。

基本施策項目

9-2. 認知症バリアフリーの推進(介護予防係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
見守りネットワークの協力的事業者数	事業者	368	424	330
見守りシール利用登録者数	人	161	183	300

チームオレンジ 設置数	か所	2	2	3
----------------	----	---	---	---

【令和 7 年度の取組み内容、課題、令和 8 年度以降の取組み方針等】

見守り体制の強化のため、見守りネットワークの協力事業者の拡大に努めた。見守りネットワークの協力事業者は424事業所となり、日々の業務の中での見守り活動に取り組んでいただいている。

また行方不明高齢者の対策として、QRコード付きの見守りシールの配布を継続し、利用者が増加している。今後も、SNS等様々な媒体を活用して、見守りシールの意味や機能について周知啓発を行うとともに、見守り事業所の拡充に努め、見守り体制の強化を図る。

チームオレンジについては、新たな立ち上げや活動の支援を行い、令和 8 年3月末時点で2か所で開設されている。今後も、認知症の方や家族の支援体制を拡充するため、チームオレンジの新規開設に向け、取り組みを行う。

基本施策項目

9-3. 普及啓発・予防(介護予防係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和 8 年度 目標値
認知症サポーター 養成講座受講者数	人:累計	24,903	25,800	27,000
キャラバン・メイト 実働者割合	%	76.4	72.3	80.0
からだ元気塾の 参加人数	人	985	1,022	1,000
なごやか寄り合い 参加者人数	人	6,844	6,826	9,000

【令和 7 年度の取組み内容、課題、令和 8 年度以降の取組み方針等】

認知症サポーターを増やすため、学校(高校、専門学校)、企業、自治会、行政機関等で養成講座を開催し、令和 8 年3月末時点で 25,800 人(うち令和 7 年度は 897 人)が参加した。また、認知症月間において、市主催の認知症サポーター養成講座を開催し、18 人の参加があった。令和 8 年3月にも認知症サポーター講座を行い、14 名が参加した。今後も、企業や小・中学校・高校生等若年世代への養成講座の開催に向けて関係機関への働きかけを推進する。

キャラバン・メイトについて、令和 7 年度中に新たに 10 名が登録された。新規登録者数の増加により、一時的

に実働者割合が前年度と比べて低下しているが、今後、新規登録者に対して優先的に講師の依頼を行っていくことで、実働者割合の向上を図る。さらに、実働者割合の向上に向けて非活動者に対して、学び直しのきっかけとして認知症サポーター養成講座受講の働きかけを行う。

基本方針

4. 介護人材の確保(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
介護職員の充足率	%	12.8	13.7※	15.0

※令和7年4月～令和8年1月の平均値

施策の柱

10. 地域包括ケアを支える介護人材の確保

基本施策項目

10-1. 介護業界イメージアップに向けた情報発信(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
「介護の出前授業」 の実施中学校数	校	8	9	14
福祉人材養成校 との連携	校:累計	0	0	6

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の実績方針等】

介護の出前授業について、令和7年度は、これまで実績のない未実施校へ訪問し、事業説明を行った結果、令和7年度は令和5年度から3校増の9校で授業を実施した。今後は、未実施校へのアプローチ等を行っていくほか、より中学生への理解促進に向けて実施方法についても検討する。

福祉人材養成校との連携については、今後は、介護 PR イベント等において事業との結び付きを見据え、新たな関係の構築について検討していく。

基本施策項目

10-2. 多様な人材の参入促進(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
松江市総合事業 訪問型サービス A 従事者養成研修 受講者数	人	9	12	20
先進事例等共有セ ミナーの開催回数	回 (計画期間中 の累計)	2	2	3

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

訪問型サービス A 従事者養成研修について、令和7年度実績は年2回開催で受講者は12名(第1回目8名、第2回目4名)であった。令和7年度は、令和6年度に引き続き SNS 等の活用により積極的な周知を図った。令和8年度は令和7年度同様、10月と3月に2回開催を予定しており、引き続き SNS 等により周知を行い、受講者の増加を図ることで、介護事業所の人材確保につなげていく。

多様な先進事例等共有セミナーについては、令和7年度は外国人介護人材をテーマに開催し、市内で先進的に受け入れを行っている施設からの事例紹介を行った。多様な人材の活用については施設・事業所に対し理解を広める必要があることから、来年度以降も、理解促進に向けセミナー等を通じた取組みを継続する。

施策の柱

11. 介護人材の育成・定着に向けた職場づくり

基本施策項目

11-1. 介護職員の処遇改善(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
介護職員等処遇改善加算取得率	%	97.1	98.7	100
介護職員等処遇改善加算取得する法人のうち加算Ⅰを取得する法人の割合	%	56.6	60.0	75.0

※令和6年6月から「介護職員等特定処遇改善加算」「介護職員等ベースアップ等支援加算」は廃止。

【令和7年度の取組み内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

令和7年度の取組みとしては、運営指導を介し、既に取得している事業所にはより上位加算取得についてアドバイスを行ったほか、未取得の事業所にはヒアリングを行った。

令和8年度の取組みとして、令和8年6月に、介護報酬の前倒し改定として処遇改善加算が上方改定される予定であり、その要件について事業所に対し周知する。またそれまで処遇改善加算の対象でなかった、訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護支援も対象となることから、これらのサービス事業所に対し、重点的に働きかけを行う。

基本施策項目

11-2. 介護職員のキャリアアップ支援(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
アセッサー講習 修了者数	人 (令和5年度 からの累計)	2	2	28
スマート介護士 中級資格取得者数	人 (令和5年度 からの累計)	0	1	28

【令和7年度の取組み内容、課題、令和8年度以降の取組み方針等】

令和7年度は事業所向けにICT化推進セミナーを開催し、その中でスマート介護士について紹介した。

基本施策項目

11-3. ICT等の活用促進等による働きやすい職場づくりの推進(事業所管理係)

指標名	単位	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和8年度 目標値
先進事例を共有する場の開催回数	回 (計画期間中の累計)	0	1	3
介護事業所・施設における「LIFE」登録率	%	35.8	36.1	90.0

【令和7年度の実績内容、課題、令和8年度以降の実績方針等】

令和7年度では市内事業所向けにICT化推進を目的としたセミナーを開催し、全国的な先進事例について紹介する機会を設けた。令和8年度以降においても同様のセミナーや事例紹介の場を設けることで、ICTに関する事業所側の理解を深め、取り組みを推進する。

「LIFE」については、事業所からの質問・相談等に対処し、円滑な導入に向け事業所の理解を促したところ。令和8年度も国におけるLIFEのあり方に関する議論を注視し、これまで同様事業所への相談等に対処していく。